

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：警察費 項：警察活動費 目：交通指導取締費

事業名	新	総合通信指令システム整備費
------------	----------	----------------------

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 地域部 通信指令課 電話番号：058-271-2424 (内 3611)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 **341,975 千円 (前年度予算額： 0 千円)**

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	341,975	0	0	0	0	0	0	0	341,975
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県警察では、110番通報に対応するため、「総合通信指令システム」を構築し運用している。当システムは110番通報の受理、パトカー等に対する迅速な指令と緊急配備の発令、大規模災害や重要事件に対する迅速・的確な対応が可能となるなど、初動警察活動の中心的役割を果たしている。

現行システムのリース契約が令和5年3月31日に満了するため、更新整備を行う。

(2) 事業内容

現行システムの大型表示画面等の映像表示システムの機器等、継続使用が可能なものはリース延長する。

リース延長が不可能なサーバー、端末等の更新整備を行うとともに、システムの更なる高度化を図る。

令和4年度に更新整備を行い、令和5年度から次期システムを運用開始する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県民の110番通報等に対して、迅速・的確に対応するためのシステム更新に要する経費で、県民の安全・安心の確保には欠くことのできない事業であり、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	148	総合評価委員費用弁償、中間（納入前）検査旅費
委託料	341,677	総合通信指令システム整備委託
その他	150	総合評価委員会開催経費
合計	341,975	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ-2-(2)-③ 犯罪・交通事故防止の推進

(2) 国・他県の状況

基本システムは国で整備し、計画的に更新を行っている。

他都道府県警察においても、システムの計画的な更新を行っている。

(3) 後年度の財政負担

項目	R5	R6	R7	R8	R9	合計
経常経費	407,099	407,099	407,099	407,099	407,099	2,035,495

システム機器借上げ（債務負担行為 2,035,495千円）

(4) 事業主体及びその妥当性

県民の生命、身体及び財産を守るためのシステムであり、県が主体となることは妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 110 番通報等県民からの緊急通報に対して、迅速・的確な対応を可能とする「総合通信指令システム」を計画的に更新整備し、県民の安全・安心を確保する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	R2 年 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
110 番受理状況	/	108,665 件	/	/	/	%

○指標を設定することができない場合の理由

「総合通信指令システム」は、24 時間・365 日運用しており、当該システムを計画的に更新整備し、県民の安全・安心を確保することが目的であり、指標を設定することは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	
令和 3 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和 4 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	110番通報等に対する迅速・的確な対応を指揮する通信指令室は、初動警察活動の要であり、「総合通信指令システム」はその根幹をなしている。
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	「総合通信指令システム」の効率的な運用により、年々複雑・多様化する110番通報等に対して、迅速・的確な対応を可能にしている。
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	現行システムの機器で流用可能なものはリース延長し予算軽減を図るなど、合理的かつ経済的な更新計画を策定している。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 警察が取り扱う事件・事故の多様化・スピード化等により、初動警察活動の重要性は増すばかりであり、新たな社会情勢の変化に対応するため、計画的に更新整備し、高度化を図る必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 110番通報等県民からの緊急通報に24時間・365日、迅速・的確に対応するため、計画的にシステムの更新を進める。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	